

## 自主行事「立花山の樹名板を作ろう！」

9月20日に行った立花山での樹木調査の結果を踏まえて、四王寺県民の森センターで樹名板を作成しました。

福岡森林管理署と打合せをし、平成11年に設置したものと同様に会と森林管理署との連名の樹名板です。そして今回の設置の目的ですが、次の3点になります。



- ・平成11年8月に設置した樹名板の老朽化による掛け替え
- ・プラスチック製から環境に優しい木質の樹名板に変更する
- ・登山者に樹木や自然に親しんでもらう。またインストラクター会に関心をもっていただく

以上のことから、親しみやすい手作りの樹名板づくりを目指しました。

参加者は10名です。34種91枚を、それぞれ3~4種ずつ9枚前後担当しました。

始めは原型づくりです。クリアファイルに樹木名と科目を印刷した紙をはさみ、カッターで文字を切り抜く作業です。



「細かい作業大好き!!」と嬉々として切り抜く人もいれば「科の字を切り抜くのは無理!!」と困惑する人も。皆、背中を丸めて手元をみつめ、真剣に取り組めます。



午前中いっぱい切り抜き作業を終える

と、秋の陽射しを浴びながら外でランチタイム。そしていよいよ午後からは作業の核心部です。



ヒノキやスギの板をクリアファイルにはさみ、上からアクリル絵の具をすりこみます。これがなかなか難しいのです。

クリアファイルと板の間にすきまができてはいけません。絵の具が入り込み文字がにじんでしまいます。

絵の具をつけたパフでポンポンと優しくたたいたり、柔らかいローラーをすべらせたりしてすりこみます。試行錯誤し修正しながら、それぞれ素晴らしい作品が出来上がりました。目指したとおり、手作り感満載です。

インストラクター会と森林管理署の名入れは後日ということで、設置は少し先になりますが、苦労しながら作成した樹名板が立花山に並ぶ日が楽しみです。参加者の皆さん、お疲れさまでした。



参加者 野見山 手寫 静間 藤原 大熊 永田 丸山 木村 諸石 常藤 (報告)